

総務常任委員長の仕事と、平成28年度の役割

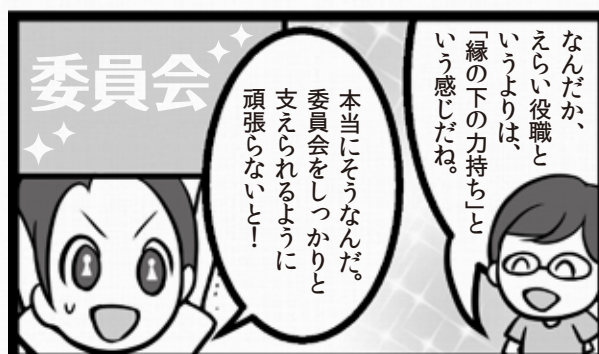
大阪府議会議員
ながふじ ひでき
永藤英機です。

6

月10日に閉会した大阪府議会5月定例会では、

今年度の議長や副議長をはじめ、各議員の所属する常任委員会や審議会などの選任が行われ、議会の新体制がスタートしました。私はこの1年間総務常任委員会の委員長を務めることになりました。総務常任委員会を担当する部局は「総務部」の他に「政策企画部」「副首都推進局」「財務部」「会計局」「危機管理室」が含まれていて、これらの所管する事務は大阪府政の根幹かつ多岐に渡る重要な役割を持ちます。私は委員長として今年度の総務常任委員会が大阪府にとって実り多いものであるように、また運営が円滑に進む

委員長の仕事



ように務めていきます。6月6日には総務常任委員協議会が開催され、それぞれの担当部局から事業の概要や予算についての説明を受けました。

そ

の他に、大阪維新の会府議団としては4年続けた

の政調役員（総務部会長）を、昨年に引き続いて「政務活動費検査等協議会」の会派代表と協議会の座長を務めることも決まりました。この協議会は政務活動費の適正な使用をチェックし、望ましいあり方について検討するもので、6月17日には早速、平成27年度の各議員の政務活動費について確認を行いました。（府庁での一般公開は7月4日から、インターネットでは8月3日に公開される予定です）

府政報告会を開催しました

6月19日に「永藤英機 府政報告会」を開催しました。雨の中にもかかわらず多くの方にお越しいただき、大阪府議会でお話している仕事の内容や日々の活動についてお話ししたのちに、参加された皆様との質疑応答でもたくさん

の貴重なご意見を寄せていただきました。堺区選出の上村堺市議、井関堺市議も同席し、大阪府政・堺市政の垣根を越えて有意義なやり取りとなりました。永藤事務所で開催する府政報告会の他に、ご希望に応じて出前報告会も行っていますので、お気軽にお問合せください（詳細は裏面に）。



これが維新の 身を切る改革

議員報酬

維新の会主導で平成23年度から30%カットを実施。
全国最低報酬額、現在も継続中。

府議定数

維新の会が過半数の議席を得て直ちに21人削減の条例改正
平成27年4月の選挙から定数88人(旧定数は109人)で実施

	議員報酬30%削減	府議定数21人削減
削減額	26億3800万円 ※1	15億3200万円 ※2

※1 今任期中(平成30年度まで)削減した場合

※2 今任期4年間の議員報酬及び政務活動費の積算額21人分

前東京都知事の公務に係るお金の使い方や、政治資金の不正な使用など「政治とカネ」の問題が後を絶ちません。また、議員定数の削減に關しても国政選挙のマニフェストで当時の民主党政権が「衆議院議員80減、参議院議員40減」を掲げて政権を獲得したにもかかわらず、結局実施されることはありませんでした。党首討論で議員定数削減を継いだはずの自民党政権も、これまで480の衆議院議員定数をわずから減らすだけに留まっています。政治家は消費税増税など国民に負担を押し付けることは行っても自らの「身を切る」ことについては躊躇して動きません。これを実際に行ったのが大阪府議会です。報酬3割カットは平成23年から今年で既に5年目。議員定数も2割(21議席)を一度に削減し、昨年88議席として選挙が行われています。この堺区でも2議席から1議席になり、私自身も大変厳しい選挙を戦いました。これによって、今期4年間の効果額は40億円にも上ります(左図)。まずは議員が自ら姿勢を示し、府民の皆さんに大改革の後押しをお願いする。今後も継続していきます。

● 出前 府政 報告会、行います! ●



3名様以上お集まりの場合にお伺いして、府政の現状について直接お伝えします。右下に記載の電話、FAX、メールなどでご相談ください。(会費無料)

月刊永藤タイムズバックナンバー・Twitter 案内

月刊永藤タイムズのバックナンバーをホームページにて公開しています。

<http://www.nagafujihideki.com>

ながふじひでき

検索

毎月発行しています



twitter アカウント

@nagafujihideki

コラム「18歳選挙権と、若者の政治参加」

7月10日に行われた参議院選挙から選挙権が18歳に引き下げられました。もしかしたら「18歳になったって、若い人の投票率が低いのは同じ」と思われる方も多いかもしれません。しかし私の考え方は違います。大阪府立高校でも主権者教育が行われ、「有権者になるとはどういうことか」「政治の仕組み、私達の生活とのかかわり」「投票の仕方」などについて勉強します。私は7月で40歳になりましたが、学生時代の政治に関する授業と言えば、「三権分立」や「国会議員の定数」、「最高裁判所裁判官の罷免」など、とても「身近に感じるもの」とは言い難かった記憶があります。その意味でも、今回の選挙権年齢の引下げとそれに伴う高校での主権者教育は大きな意味を持つと考えています。私も議員として、より適切な主権者教育が行われるための検討をはじめ、日々の活動を通してこれからの大阪・日本の未来を担う若い方たちにもっと政治に関心を持ってもらえるように取り組みます。

[永藤英機 プロフィール]

昭和51年7月13日生まれ(40歳)。
大阪府立大学経済学部を卒業後、SEとしてコンピュータ会社勤務、その後ファイナンシャルプランナーとして株式会社を設立。2008年2月に橋下知事が誕生し、「今なら大阪が本当に変わるかもしれない」と共に大阪府政改革に取り組むことを決意。2015年4月、大阪府議会議員に二期目の当選。(堺市堺区選出)
大阪維新の会大阪府議団・総務部会長



■ 府政に関する相談やお問い合わせは
大阪維新の会 大阪府議会議員

永藤英機事務所 まで!

〒590-0971 堺市堺区栄橋町1丁7-3 栄橋ビル4階

TEL (072)228-3331 WEB: <http://nagafujihideki.com/>

FAX: (072)344-5676 MAIL: info@nagafujihideki.com



ご意見、ご感想をお寄せ下さい!

